

「わが図書館ならではの本！！」

～霧島市～
霧島市立国分図書館

書名	かごしま食歳時記 上・下巻
著者名	千葉しのぶ
出版社	燦燦社

「食を大切にする文化を創ること」を活動目的に、平成16(2004)年に創立されたNPO法人 霧島食育研究会の理事長 千葉しのぶ氏が、令和4(2022)年に出版したのがこの「かごしま食歳時記」の上・下巻です。

郷土料理を、1～6月の上巻と7～12月の下巻に分け、豊富な写真と、作りやすい分量でのレシピが添えてあります。目で楽しく、作って美味しいばかりか、南北600キロに及ぶ本県の地域性や採れる食材、先人の知恵や工夫に思いを馳せておられます。

NPO法人が設立されて、今年は20年の節目に当たります。年に一度のイベント「霧島・食の文化祭」を始め、様々な郷土料理教室、食農プログラムや食農教育などを、たゆまず続けてこられた一つの集大成である、と感じます。

ここで霧島市横川が発祥のお菓子をひとつ紹介します。「げたんは」は以前、「横川菓子」「三角菓子」とも呼ばれていたとか。なぜこの菓子が横川で生まれたのかは、是非上巻の1月13日のページを開き、確かめてみてください。なお、この「げたんは」、見た目も原材料もそっくりな「げたのは」というお菓子が、島根県大田市にあるそうですよ。旧横川町と大田市の共通項が、お菓子を通じて歴史をつなげてくれるかも知れません！

参考文献 まっふる松江・出雲・石見銀山 '17



かごしま食歳時記 上・下巻